

【小学校低学年の部・最優秀賞】

みんなで作ろう　へいわなせかい

糸満市立光洋小学校

三年　小原　菜々美

「ななみ、みんなでへいわきねんしりょうかんにいくよ。」

五月四日、わたしは、お父さんにさそわれてへいわきねんしりょうかんに行きましました。そこは、広くてしずかできれいな場所でした。ワクワクしながら入ったしりょうかんで、わたしは多くのことを考えたり学んだりしました。

まずはじめに、パネルを見てびつくりしました。わたしより小さい子どもたちがたくさんしんだと書いてありました。大人も食べる物がなく、虫や葉っぱを食べていたのでびょう気になった人もたくさんいたそうです。けがをしてもちゃんとしたびょういんがないため、ごうの中がびょういんだったそうです。やがてアメリカカくんが近づいて来ると、へいたいさんは、けが人をすててにげたそうです。けが人には、うじ虫がわき、ほねまで食べていたそうです。なんておそろしいことでしょう。せんそうがこんなにひどかったなんてびつくりでした。

それではなぜ、せんそうをしたのでしょうか。どんな理由があつて、せんそうが起つたのでしょうか。

動物は、生きていくためにしかたなくほかの動物をつかまえて食べるけれど、人間は人の命をうばつてどうするのでしょうか。わたしには、ふしぎでし方ありませんでした。お母さんがくれたせかいでたった一つしかない大切な命。その命をうばうせんそうはぜつたいにしては、いけません。だつてしんだら

何もかもうしなつてしまふからです。いいことなんて一つもないからです。

わたしは、今のへいわな時に生まれてすぐよかつたです。それに友だちもいて、家づくりもいます。そんな幸せな毎日をおくつているので、すごく幸せです。もし、わたしがせんそうの時に生まれていたらどうなつたでしょうか。一人で何もできないし、こわくて大なきすと思うだけでもふるえあがります。

どうしたら、せかいからこわいせんそうがなくなるでしょうか。わたしは、考えました。そして、せんそうがなくなる一番大切なことに気づきました。それは心でした。だつて、人間は心しだいかわるからです。せんそうをする人たちは、ぜつたい自分がかつという気もちが強すぎて、せんそうをやめきれなかつたのだと思います。こういうときは、早く話し合いをし、せんそうを中だんしたほうがいいと思います。そして、せんそうをなくすためには、せかい中のみんながきょうりよくしていけばいいと思います。

わたしは、三年生で小さいけれど、わたしもできることがあると思うので、そのできるところをみんなでやつて、へいわな日本、せかいを作りたいです。